

令和5年度「京都府虐待防止権利擁護研修(事業所コース)」研修参加のみなさまへ
【演習事前課題2種】への回答・準備のお願いについて

「京都府虐待防止権利擁護研修(事業所コース)」について、充実したよりよい演習内容の確保とスムーズな演習進行を行うために、演習事前課題2種をお願いしております。演習事前課題については下記の通りですので、期限までにそれぞれの課題の指示に従い回答または準備いただきますようお願い申し上げます。課題Aはグーグルフォームにて回答いただきます。

※なお演習事前課題については、京都府社会福祉協議会HP内研修課ページに掲載しております。直接回答フォームに入れるボタンやフォームデータなどもご用意していますので、ご活用ください。

演習事前課題A

虐待事例が1件提示されます。その事例について質問が出ます。その事例を読んで、登場人物の関係性、現場の状況などを理解し、あなたが最善と思われる答えをお書きください。

グーグルフォームでの回答です。下記URLまたは右記二次元コードより入力下さい。

回答期間：9月29日(金)9:00～10月30日(月)17:00まで

URL:<https://forms.gle/Q7pWzJAH6Kc5vUPM6>



注：回答を送信すると返信メールと共にご自身の回答が返信されます。ご自身用の1部をコピーしてお持ちください。研修で使用しますので必ずお持ちください。また期限までに回答が確認できない場合、受講をお断りする場合があります。

演習事前課題B

研修企画についての課題です。当日の研修の最後にあなたの事業所で行われている研修についてお聞きするワークがあります。研修を行っている事業所はその内容を思い浮かべながら考えてください。まだ行っていないまたは企画はしているという事業所は、企画立案を考えてください。

注：この課題は当日作成いただく研修企画の準備課題です。事前に提出するものではありません。

ご用意いただく内容：①研修テーマ(タイトル)※副題があっても可 ②ねらいと目標※何に課題があり、何を職員に伝えたいか a)サービスの質の観点で課題であると認識していること b)前述 a)の課題から考えた、研修のねらいや目標 ③対象者・参加人数※事業所名や職種、役職等で記載する ④開催日時※〇月頃、などでも可 ⑤会場 ⑥研修方法※職場にあった複数の組み合わせが望ましい(講義、DVD、セルフチェック、事例検討、個人ワーク、グループワーク、ロールプレイ、その他) ⑦タイムテーブル(例 13:00～14:00 60分など)⑧講師(指導者) ⑨必要経費 ⑩使用する機材・教材・文房具等 ⑪企画・運営担当者※委員会等の組織化をしても良い ⑫欠席者への対応※非常勤職員を含む全ての職員が研修を受ける必要があります。欠席者への対応方法を定めましょう

※京都府社会福祉協議会HP→研修課→事前課題・課題フォーム等はこちら→令和5年度京都府障害者虐待防止権利擁護研修事前課題(事前課題・マニュアルダウンロード)についてに演習事前課題Bで使用するフォームデータを用意しています。

お問い合わせ先

京都府社会福祉協議会 京都府福祉人材・研修センター 研修課(担当：八木)

電話：075-252-6296 FAX：075-252-6312